

平成24年度  
6月補正予算(案)のポイント

平成24年6月7日



静岡市



# 平成24年度6月補正予算(案)のポイント

## 1 予算(案)の規模

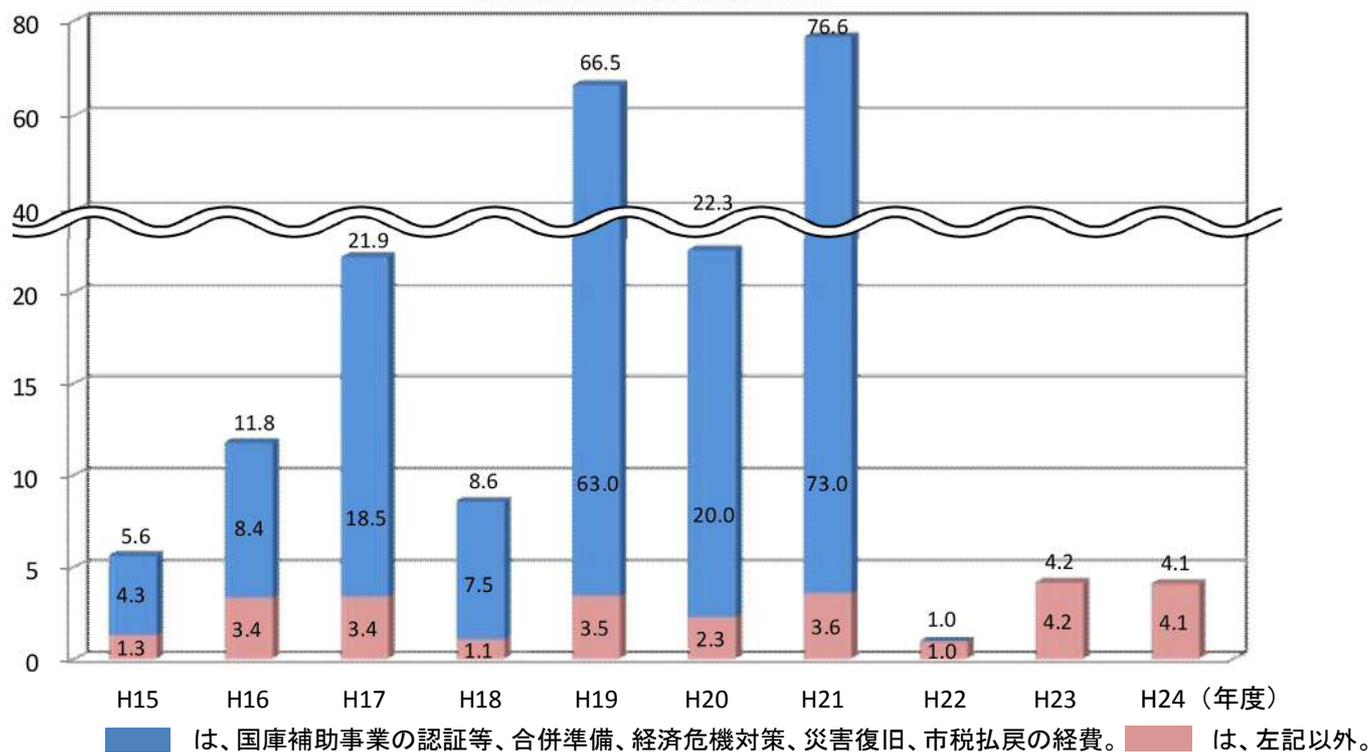
- ★ 補正予算の規模は、一般会計が約4億1千万円の増額で、前年度と比較すると約1千万円の減少。
- ★ 今回の補正予算は、「被災地支援・防災対策」のほか、「雇用・経済対策」等の経費を計上。

(単位:千円)

区分	平成24年度 6月補正予算額	平成23年度 6月補正予算額	増減額	増減率(%)
一般会計	407,869	419,098	△ 11,229	△ 2.7
特別会計	—	—	—	—
企業会計	—	—	—	—
合計	407,869	419,098	△ 11,229	△ 2.7

(単位:億円)

一般会計6月補正予算額の推移



※平成20年度以前は、合併前の各団体の数値を合算したものである。

## 2 予算(案)の財源

- ★ 特定財源としては、主に、社会資本整備総合交付金(全国防災)に係る国庫支出金や緊急雇用対策事業に伴う県支出金、市債を活用。
- ★ 一般財源としては、平成23年度の決算剰余金(繰越金)を財源とした。

### 3 主要事業のポイント

#### (A) 被災地支援・防災対策

79,949 千円

##### ① 被災地支援

5,986 千円

★ 東日本大震災により発生した岩手県山田町、大槌町の災害廃棄物の安全性を確認するため、試験焼却を実施。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 試験焼却実施に係る 市民説明会等経費 (財源:県委託金 10/10)	・被災地の現況視察 ・放射能に関する市民説明会 ・アンケート調査	3,225
2 試験焼却実施経費 (財源:県委託金 10/10)	・ばい煙濃度等の測定 ・清掃工場周辺の施設警備	2,761



岩手県山田町の災害廃棄物仮置場の様子



岩手県大槌町の災害廃棄物仮置場の様子



試験焼却に伴う災害廃棄物の西ヶ谷清掃工場への搬入

② 津波対策

70,000 千円

★ 東海地震等によって生じる津波から人的被害を軽減するため、市内沿岸地域における津波避難場所の確保が急務となっている中、民間施設等を有効利用した津波避難ビルの指定を促進するため、整備費を助成。

○津波避難ビル整備事業費助成（財源：国補助金 補助対象事業費の1/3又は市補助金の1/2）

補助対象要件	対象事業	補助算出方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・津波避難ビルとして指定</li> <li>・安政東海地震推定浸水域内</li> <li>・近隣住民から使用要望有</li> <li>・避難場所面積50㎡以上</li> <li>・災害時拠点として市と協定締結</li> <li>・想定浸水深を考慮した高さ</li> <li>・避難できる住民、観光客がいる</li> <li>・専ら津波避難の場所として使用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外付け階段設置工事</li> <li>・屋上フェンス設置工事</li> <li>・屋上デッキ設置工事</li> <li>・誘導照明灯設置工事</li> <li>・その他市長が津波避難に必要と認める工事等</li> </ul> <p>ただし、法令等において設置義務のないものに限る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 補助対象事業の工事費</li> <li>② 避難場所面積に1㎡当たり50,000円を乗じて得た額</li> </ul> <p>※①、②どちらか低い方に補助率を乗じて得た額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>③ 補助限度額 1,000万円</li> </ul>
		補助率
		$\frac{(\text{収容可能人数} - \text{従業者数又は入所者数})}{\text{収容可能人数}}$

※1 補助の終期：平成27年度まで

※2 東日本大震災以降に計画し、要綱制定日以前に着工、平成24年度までに完成したものについては、市単独費により補助

現状：指定津波避難ビル 111か所（平成24年5月15日現在）



屋上フェンス設置（他市の事例）



外付け階段設置（他市の事例）

③ 防災対策

3,963 千円

★ 防災機能を強化するため、既存小規模福祉施設等に対しスプリンクラー等の設置経費を助成。

(単位:千円)

	事業名	主な概要	金額
1	小規模福祉施設スプリンクラー等設備整備事業費助成 (財源:県補助金 10/10)	既存の小規模多機能型居宅介護事業所(275㎡未満)でかつスプリンクラー及び消防機関へ通報する火災報知設備未設置の施設に対する設置経費の助成  ・スプリンクラー設備 9千円/㎡(延べ床面積当たり) 2施設  ・消防機関へ通報する火災報知設備 300千円/施設 (1施設当たり) 1施設	3,963



スプリンクラー設備の設置例

(B) 雇用・経済対策

278,171 千円

- ★ 求職者と中小企業の雇用のミスマッチを解消するため、facebookを活用し、求職者と中小企業の出会い、交流の場を創出し、本市地域の事業所への就労促進を図る。
- ★ 観光振興を図り、交流人口を拡大する施策として、レンタサイクル事業の有効性、採算性を確認するための実証実験を実施。
- ★ 中心市街地の商業・業務機能の充実を図るため、清水駅西第一地区再開発ビル(通称:えじりあ)において商業テナントや駐車場、駐輪場の運営を行う保留床管理法人に対し、保留床取得資金の一部を貸付。

(単位:千円)

事業名	主な概要	金額
1 中小企業人材マッチング支援事業 (財源:県補助金 10/10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・facebook上に本事業の公式ページを開設</li> <li>・参加企業・団体等の開拓及び利用促進</li> <li>・参加企業への助言及び相談</li> <li>・facebook活用法に関する参加企業向けセミナー、交流イベントの企画運営</li> <li>・学生、求職者等に対する周知</li> </ul>	13,436
2 レンタサイクル実証実験事業 (財源:県補助金 10/10)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サイクルマップ」の作成 8種類(予定)</li> <li>・「レンタサイクル実証実験事業」の運営 主要観光拠点(JR静岡駅、三保等)12か所、105台(予定)</li> <li>・利用者アンケートの実施</li> </ul>	28,735
3 清水駅西第一地区市街地再開発事業 保留床取得資金貸付金 (財源:市債 206,500千円)	<p>都市開発資金貸付金制度に基づく、保留床取得資金の貸付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付対象者:保留床管理法人</li> <li>・貸付金額:保留床取得費の1/3以内</li> <li>・利率:無利子</li> <li>・償還期間:25年(10年間の据え置き期間を含む)</li> </ul>	236,000



レンタサイクル(他市の事例)



完成イメージ図

清水駅西第一地区市街地再開発事業  
工事の様子(平成24年5月18日現在)